

## 第2次大分市農林水産業振興基本計画 進捗状況（要約版）

### 令和5年度進捗状況（重点推進項目）

第2次大分市農林水産業振興基本計画は、本市の農林水産業が基幹産業として、持続的に発展できるよう令和4年3月に令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間として策定され、毎年、本計画の進捗状況等を市民に広くお知らせすることとしております。

#### 1 将来の農林水産業を支える人づくり

重点推進項目	令和5年度の主な取組内容・成果
農林水産業における新規就業者等新たな担い手の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業相談会への出展：7回、来場者数32名</li> <li>・就業希望者に対する研修の実施</li> <li>【農業】研修生受入農家等1名（パセリ）、1名（にら）</li> <li>【林業】林業作業士2名、林業アカデミー研修生1名</li> </ul>

#### 【令和6年度の主な取組計画】

- ・農地の集積による新規就農者支援や農業参入企業の誘致
- ・栽培施設や機械導入支援による新規就業者の確保
- ・関係機関の連携による集落営農の組織化・法人化の推進



目標指標／年度	R2（現状値）	R5（目標値）	R5（実績）	判定
集落営農組織数	23組織	26組織	26組織	b
うち法人数	10法人	12法人	13法人	b
者新規就業				
農業※H26年度からの累計	115人	166人	179人	b
林業※H27年度からの累計	36人	57人	56人	c
水産業※H22年度からの累計	21人	33人	46人	a
他産業からの年間農業参入数 ※累計	16社	19社	22社	b
認定新規就農者数	19人	43人	26人	d

#### 2 信頼され魅力あふれるものづくり

重点推進項目	令和5年度の主な取組内容・成果
重点推進品目の生産拡大	・重点推進品目の規模拡大面積：おおば23a、にら58a、ピーマン46a
大規模園芸団地の建設による産地拡大	・市外大規模花き栽培企業への参入支援（農地集積面積：6.4ha）
農林水産物の6次産業化・ブランド化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市産農林水産物等の加工品開発や販路拡大：研究開発等11件</li> <li>・OitaBirth（大分市ブランド認証）認証件数：61品</li> </ul>
地産地消の取組強化	・交流給食開催：5回、米粉料理教室開催：12回
地域材（市産材）の利活用	・木造住宅等に対する支援：住宅52件
水産資源の維持増大	・種苗放流数（海面：1,019千尾、内水面：18,125kg）

#### 【令和6年度の主な取組計画】

- ・施設や機械導入に対する助成等による産地の拡大
- ・生産基盤整備等による効率的で災害に強い生産体制の確立
- ・店舗での加工品、常設棚の設置やブランド認証による大分市産品のPR及びその利活用の推進

## 重点推進品目の産出額

(単位：千円)

目標指標／年度		R2 (現状値)	R5 (目標値)	R5 (実績)	判定
農業	おおば	1,453,909	1,770,000	1,732,214	c
	にら	1,185,962	1,198,400	1,320,093	a
	みつば	318,310	438,000	382,081	d
	いちご	222,031	264,000	261,087	c
	水耕せり	110,719	152,975	121,749	d
	パセリ	30,468	56,250	63,771	a
	ピーマン	78,409	109,800	138,756	a
	乳用牛(生乳)	1,053,490	1,096,100	1,121,811	b
	肉用牛(和牛子牛)	82,940	105,600	65,323	d
林業	木材	349,582	340,200	R7.4月頃 公表予定	-
	乾椎茸	146,946	158,000	10月頃 公表予定	-
水産業	関あじ・関さば・イサキ	220,550	250,000	276,120	b

目標指標／年度	R2 (現状値)	R5 (目標値)	R5 (実績)	判定
種苗放流数(海面)	623 千尾	900 千尾	1,019 千尾	b
直販所販売金額	30.3 億円	31.5 億円	30.7 億円	c
地域材利用量	6,750 m <sup>3</sup>	6,700 m <sup>3</sup>	5,944 m <sup>3</sup>	d
6次産業化商品化数	67 品目	80 品目	98 品目	a

## 3 特性を生かした活力ある地域づくり

重点推進項目	令和5年度の主な取組内容・成果
生産基盤の整備	・農地の大区画化や汎用化または灌漑施設等の基盤整備の実施：1地区(賀来中尾地区)
担い手への農地集積	・「地域計画」策定のための「協議の場」をモデル的に実施：4地区
有害鳥獣の被害軽減対策	・鳥獣捕獲頭数：イノシシ1,481頭、シカ133頭、小動物296頭 ・鳥獣被害防護柵の資材購入費に対する補助：139件

## 【令和6年度の主な取組計画】

- ・地元農家や参入企業との合意形成による基盤整備の推進
- ・地域での話し合いを基本とした地域計画の策定
- ・環境整備対策、防護柵を設置する予防対策、捕獲対策など総合的な鳥獣被害軽減対策

目標指標／年度	R2 (現状値)	R5 (目標値)	R5 (実績)	判定
生産基盤を整備する地区数(農業)	6地区	9地区	6地区	d
農地中間管理事業による集積面積	184ha	259ha	263ha	b
実質化された人・農地プラン策定集落数	15集落	40集落	48集落	b
有害鳥獣による農林水産物の被害金額	7,007千円	7,500千円	9,115千円	d

目標指標  
判定基準

a：十分に達成している(5年度目標値を上回って達成)  
b：計画以上で推移している(5年度目標値を達成)  
c：概ね計画どおり(5年度目標値未達だが9割以上達成)

d：計画以下で推移している(5年度目標値の5割以上9割未達)  
e：あまり達成していない(5年度目標値の5割未達)